

「すべてのペットを笑顔にする。」ペットファーストのCSR活動 “Pets always come first プロジェクト”について

ペットファースト株式会社は、グループで取り組む様々なCSR活動を、“Pets always come first プロジェクト”とし、より一層の推進を図ります。

■ Pets always come first プロジェクトとは

ペットファーストグループが行っている様々なCSR活動を取りまとめ、より推進させていくためのプロジェクトです。

1頭でも多く殺処分を減らすため、「すべてのペットを笑顔にする。」をコンセプトに、ペットファーストでお迎えいただいたワンちゃん・ネコちゃん **1頭あたり1,000円**と、**保護犬・猫の譲渡費用すべて**を活動の原資とします。

昨年2021年度は、23,748名にペットライフを提供することができ、9頭の保護犬・猫が新しいご家族に出会え、その費用210,980円を合わせた、**23,758,980円**を今期2022年度のPets always come first プロジェクトの活動予算とし、今後も継続し様々なCSR活動に取り組みます。

■ ペットファーストグループのCSR活動について

① 補助犬（聴導犬／介助犬）の育成支援

2016年8月より「公益財団法人日本補助犬協会」との共同プロジェクトとして、聴導犬の普及活動を開始し、これまでに11頭の聴導犬が誕生し、毎年1頭の育成支援を行なっています。2022年からは、聴導犬に続き障がい者の日常のサポートを行う、介助犬の育成支援を開始。

② ペットの難病対策（遺伝性疾患／伝染性疾患の研究）

「不治の病」を「治る病」に、遺伝病をうまなために病気や死亡事故を少しでも減らすために、ペットの遺伝病や重篤な疾患の撲滅に対する研究を、各地の大学やブリーダーと連携をして取り組んでいます。

- ・日本獣医生命科学大学とのFIPの共同研究

長年「不治の病」とされていたFIPを「治る病」にするために、2018年から日本獣医生命科学大学との共同研究に取り組んでいます。

譲渡されたネコちゃん	22頭
譲渡待ちのネコちゃん	8頭
治療中のネコちゃん	9頭

※ウェルネス管理センター（東京／大阪／福岡）、動物病院（自由が丘／吉祥寺／大阪）、ペットケア&アダプションセンター日光の合計

- ・鹿児島大学とのGM1共同研究

豆柴の親犬を対象に、血液による遺伝子検査を行っています。親犬を検査することで、その犬から生まれた子犬が遺伝子病を発症する変異遺伝子を持たないことを確かめることができます。遺伝子病に苦しむ子犬が生まれてこないよう、変異遺伝子を持たない親犬だけの適切なブリーディングを提唱しています。

検査を実施した犬舎数	123舎
検査を実施した親犬の数	2,136頭
変異遺伝子（キャリア）を持っていた親犬	9頭

※2022/7/25時点

③マイクロチップの装着と啓発活動

2006年4月から終生飼養を促し殺処分を確実に減らすために、ペット業界に先駆けてすべてのペットにマイクロチップの装着を開始。ドッグショーなどのペットが集まるイベントにも参加し、マイクロチップの装着、啓発活動を行なっています。

④ブリーダー向けオンラインセミナー

ペットファーストと取引のあるブリーダーを対象に、オンラインセミナーを毎月1回開催。獣医師や専門家を招いて、繁殖活動における有益な情報を定期的に発信し、情報交換を行うことで、販売後に適切なフィードバックを行い、ペットの健康状態を共有することで、遺伝性疾患など重篤な病気の発生率を抑える活動を行なっています。

“Pets always come first プロジェクト”では、ペットの総合企業として、ペットとの共存社会を豊かに、ペット業界における社会的課題の解決を目指し、今後も継続的にCSR活動に取り組んでいきます。

■ Pets always come first プロジェクト ポスター



すべての
ペットを
笑顔にする。

Pets always come first プロジェクト

「すべてのペットを笑顔にする。」をコンセプトに、ベッツファーストからお迎えいただいた、ワンちゃん、ネコちゃん1頭あたり1,000円と、保護犬猫の譲渡活動での収益のすべてを、Pets always come first プロジェクトが行うCSR活動資金としています。

ペットの総合企業として、ペットとの共存社会を豊かに、ペット業界における社会的課題の解決を目指し、社会貢献活動を通じて、動物福祉を高め、今後も継続的にCSR活動に取り組んでいきます。

2021年度は、23,748名にペットライフを提供することができ、9頭の保護犬・猫が新しいご家族に出会えた収益の210,980円をあわせた、今期2022年度は、23,958,980円をCSR活動予算として使わせていただきます。

P's-first 

保護犬猫譲渡活動

すべての犬と猫が生産を全うできる社会を作ることを使命と考え、2013年より保護犬・保護猫譲渡活動を開始。活動開始後7年で累計譲渡数が1,000頭を超えています。

本日現在の
譲渡数



頭